

第22回千葉支部学術集会

学術集会会長：国保直営総合病院君津中央病院病院長
海保 隆

2024年3月9日(土)に、国保直営総合病院君津中央病院にて第22回千葉支部学術集会を、会場とオンラインのハイブリッド形式により開催いたしました。



会場風景

テーマを『「アフターコロナ」、「働き方改革」、「2040年」を見据えたこれからの医療マネジメント～地域全体のソフトランディングを目指して～』とし、68名のご参加をいただきました。

特別講演では、リスクマネジメント・危機管理講師・航空評論家(元日本航空機長)の小林宏之先生から「これからのリーダーシップとリスクマネジメント～チーム医療とドクターヘリの安全運航～」、横浜メディカルグループ菊名記念病院 山本 登理事長から「病院医療の展望」と題してご講演をいただきました。

教育講演では、君津中央病院経営企画課加藤 友紀子から「DPCデータ等を活用した病院マネジメントから地域医療構想へ～地域における役割を見極める～」と題して講演しました。

また、メインテーマに関連する要望演題として3題、一般演題として8題が発表されました。

各発表ともに活発な質疑応答が行われ、盛会のうちに終わることができました。開催にあたりご協力を賜りました皆様に厚く御礼申し上げます。

第21回香川支部学術集会

学術集会会長：KKR高松病院病院長 森 由弘

2024年3月9日(土)に香川県社会福祉総合センターにて、第21回日本医療マネジメント学会香川支部学術



会場風景

集会を開催しました。

今回の学術集会のテーマは「地域で支える急性期から慢性期医療～第8次医療計画に向けた医療機関の役割～」として、一般演題24題及び特別講演を行いました。

特別講演では、国立病院機構本部審議役の岡田千春先生をお招きし、「これからの病院運営～災害・コロナを経て見えてきたもの～」と題して、東日本大震災や熊本地震などの自然災害、新型コロナウイルス感染症への対応など、ご自身が職務として携わられた経験を織り交ぜながら興味深いご講演をいただきました。

近年はコロナによる開催中止やハイブリッド形式での開催であったため、今回5年ぶりに現地集会での開催となり、総勢113名ものご参加をいただくことが出来ました。

本学術集会開催にあたり、多大なご支援とご協力を賜りました関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

第23回神奈川県支部学術集会

学術集会会長：国立病院機構横浜医療センター院長
宇治原 誠

2024年3月10日(日)に鎌倉芸術館で第23回神奈川県支部学術集会を開催しました。目前に迫った診療報酬改定で示されている「医療提供体制の改革」をテーマとしました。前厚労省事務次官であり、現在、多摩大学医療・介護ソリューション研究所の吉田 学先生をお招きし、「2040年を展望した医療の姿」の特別講演を拝聴することができました。また、最近医療の分野ではDXの活用が新たな重要課題となっておりますので、済生会横浜市東部病院の三角隆彦病院長に企画、進行をお願いし、「DXを用いる医療提供体制の改革」をテーマにシンポジウムを開催しました。一般講演も含めて合計76演題の発表があり、参加者数は合計263人でした。昨年よりも1割程度増加しました。企画、準備、運営には、神奈川県支部の皆様ほか関係の皆様にご支援、ご協力いただき、心より感謝を申し上げ、開催の報告とさせていただきます。

第26回熊本支部学術集会

学術集会会長：熊本労災病院院長 猪股 裕紀洋

2024年3月16日(土)に熊本市くまもと県民交流館パレアにて、第26回熊本支部学術集会を4年ぶりに完全対面で開催いたしました。

テーマを「治療も生活も！社会全体で担うケアを考え